

地域自殺実態プロファイル【2017】

【北海道石狩市】

(行政区コード：12351)

推奨される重点パッケージ

重点パッケージ	高齢者 生活困窮者 子ども・若者 無職者・失業者
---------	-----------------------------------

「推奨パッケージ」は下記の「地域の自殺の特徴」の上位の3区分の性・年代等の特性と「背景にある主な自殺の危機経路」を参考に選定している。（「主な自殺の危機経路」は、自殺実態白書 2013 に基づき、あくまでも、該当する性・年代等の特性に応じ、全国的に見て代表的と考えられる「自殺の危機経路」を示すものであり、提示された経路が唯一のものではない。）なお、ハイリスク地及び自殺手段については次頁の「地域の自殺の特性の評価」のランク欄に示された☆☆の地域について記載している。

自らの自治体で実施すべき具体的な施策については、推奨パッケージをまず目安として確認いただき、その上で次頁の「地域の自殺の特性の評価」（人口 10 万あたりの自殺率等の全国の中での相対的な指標値をもとに評価している）等、地域自殺実態プロファイルの他の詳細データ等を勘案して検討いただきたい。

■ 地域の自殺の特徴

・北海道石狩市の自殺者数は H24～28 合計 50 人（男性 32 人、女性 18 人）（自殺統計（自殺日・住居地））

地域の主な自殺の特徴（特別集計（自殺日・住居地、H24～28 合計）、公表可能）

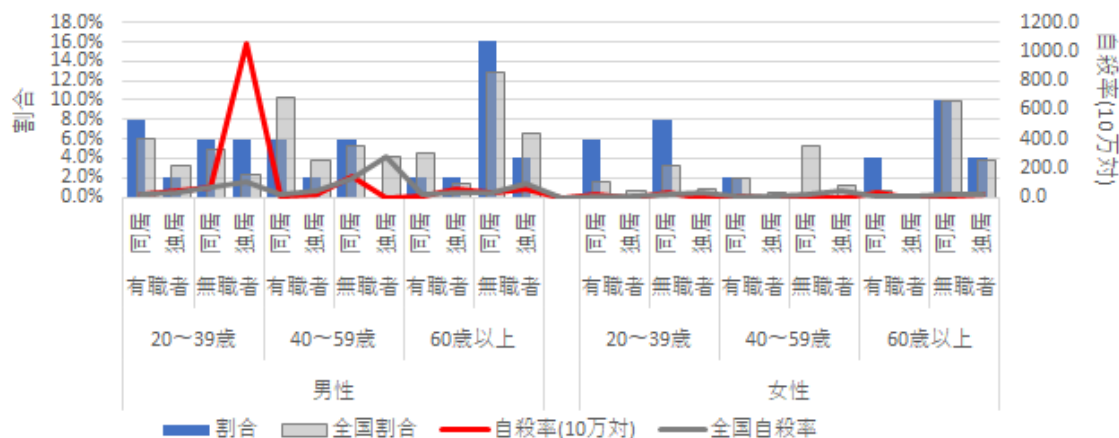
上位5区分	自殺者数 5年計	割合	自殺率* (10万対)	背景にある主な自殺の危機経路**
1位:男性 60歳以上無職同居	8	16.0%	32.5	失業(退職)→生活苦+介護の悩み(疲れ)+身体疾患→自殺
2位:女性 60歳以上無職同居	5	10.0%	12.3	身体疾患→病苦→うつ状態→自殺
3位:女性 20～39歳無職同居	4	8.0%	33.4	DV等→離婚→生活苦+子育ての悩み→うつ状態→自殺
4位:男性 20～39歳有職同居	4	8.0%	21.1	職場の人間関係/仕事の悩み(ブラック企業)→パワハラ+過労→うつ状態→自殺
5位:男性 20～39歳無職独居	3	6.0%	1057.1	①【30代その他無職】失業→生活苦→多重債務→うつ状態→自殺/②【20代学生】学内の人間関係→休学→うつ状態→自殺

順位は自殺者数の多さにもとづき、自殺者数が同数の場合は自殺率の高い順とした。

*自殺率の母数（人口）は平成 27 年国勢調査を元に自殺総合対策推進センターにて推計した。

**「背景にある主な自殺の危機経路」は自殺実態白書 2013（ライフリンク）を参考にした（詳細は付表の参考表 1 参照）。

地域の自殺の概要（グラフ）（特別集計（自殺日・住居地、H24～28 合計）、公表可能）



（数表は付表 1、2 参照）

■地域の自殺の特性の評価（H24～28 合計）

	指標	ランク		指標	ランク
総数 ¹⁾	16.7	—	男性 ¹⁾	22.1	—
20 歳未満 ¹⁾	5.6	★★★a	女性 ¹⁾	11.6	—
20 歳代 ¹⁾	20.8	★a	若年者(20～39 歳) ¹⁾	29.3	★★
30 歳代 ¹⁾	34.8	★★	高齢者(70 歳以上) ¹⁾	20.2	—
40 歳代 ¹⁾	7.7	—	勤務・経営 ²⁾	15.4	—
50 歳代 ¹⁾	13.6	—	無職者・失業者 ²⁾	32.3	—
60 歳代 ¹⁾	18.2	—	ハイリスク地 ³⁾	172%/+36	☆☆
70 歳代 ¹⁾	18.4	—	自殺手段 ⁴⁾	28%	—
80 歳以上 ¹⁾	22.9	—			

- 1) 自殺統計にもとづく自殺率（10 万対）。自殺者数 1 人の増減でランクが変わる場合はランクに a をつけた。
- 2) 特別集計にもとづく 20～59 歳を対象とした自殺率（10 万対）（公表可能）。自殺者数 1 人の増減でランクが変わる場合はランクに a をつけた。
- 3) 自殺統計にもとづく発見地÷住居地（%）とその差（人）。自殺者（発見地）1 人の減少でランクが変わる場合はランクに a をつけた。
- 4) 自殺統計もしくは特別集計にもとづく首つり以外の自殺の割合（%）。首つり以外の割合が多いと高い。（首つりと首つり以外の人数が共に 5 人以上であれば、公表可能（自殺統計から算出可能な場合の公表は差し支えない）。自殺手段関連資料（p.7）参照）
- ・指標欄の「*」は指標を算出していないことを示す。

ランクの標章（詳細は付表の参考表 2、3 参照）

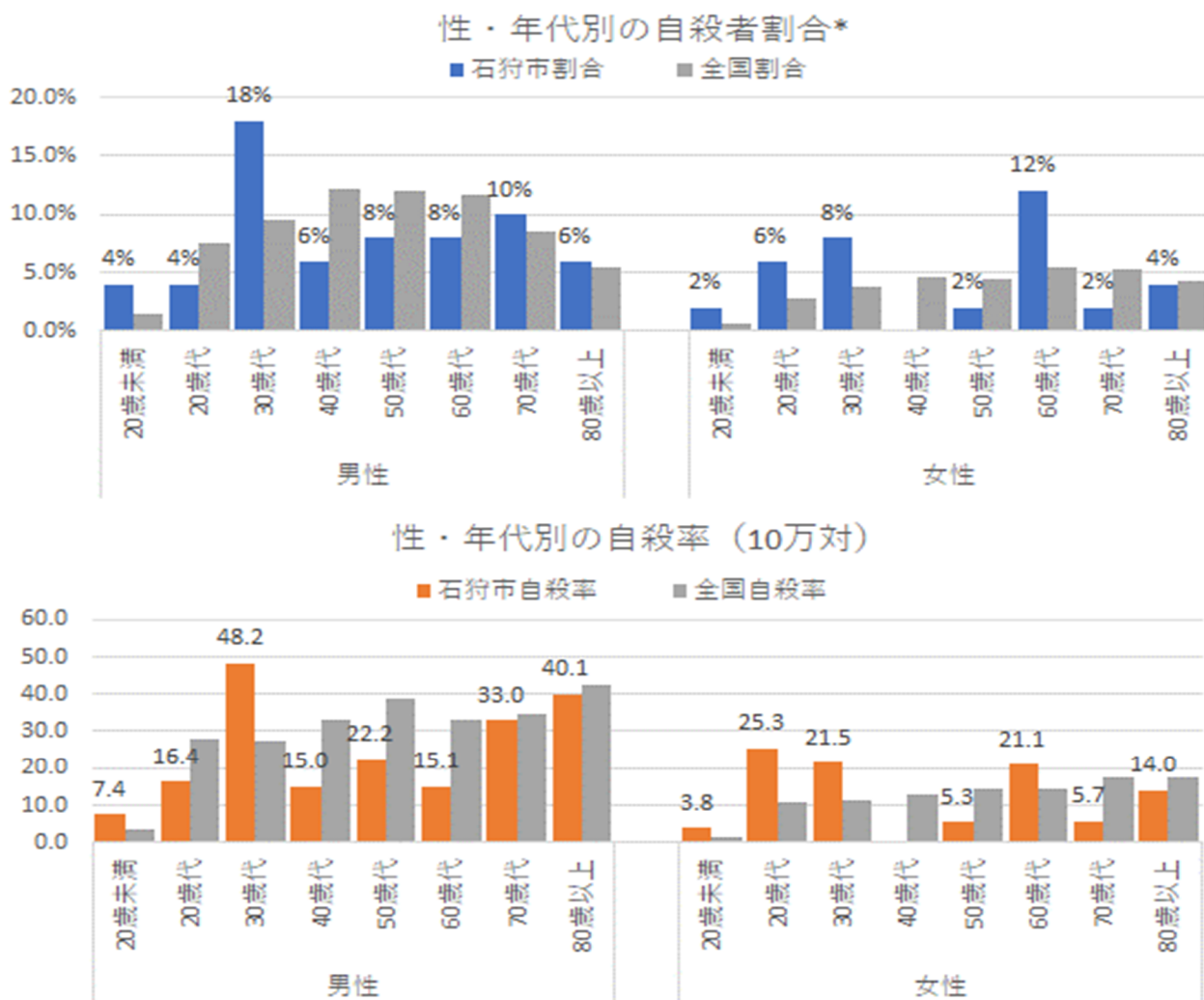
ランク	
★★★★/☆☆	上位 10%以内
★★★/☆	上位 10～20%
★	上位 20～40%
—	その他
* *	評価せず

※市区町村について全国市区町村に対するランクを評価した。

■全般的な状況

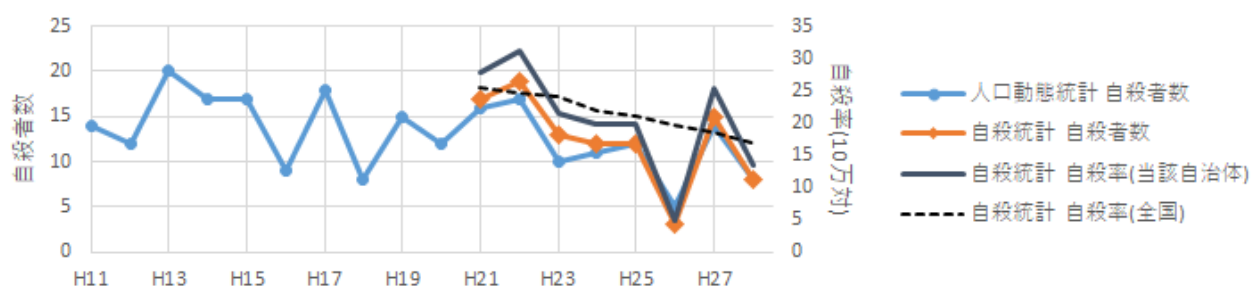
	H24	H25	H26	H27	H28	合計	平均
自殺統計 自殺者数(自殺日・住居地)	12	12	3	15	8	50	10.0
自殺統計 自殺率(自殺日・住居地)	19.8	19.9	5.0	25.3	13.5	-	16.7
人口動態統計 自殺者数	11	12	5	14	8	50	10.0

性・年代別 (H24～28 年平均) (自殺統計 (自殺日・住居地))



*全自殺者に占める割合を示す。(数表は付表3～5参照)

長期的な推移 (数表は付表6参照)



■子ども・若者関連資料

児童・生徒等の内訳（特別集計（自殺日・住居地、H24～28 合計））

学生・生徒等 (全年齢)	自殺者数	割合	全国割合
中学生以下		0%	12%
高校生		25%	26%
大学生		50%	49%
専修学校生等		25%	14%
合計		100%	100%

※5人未満（斜体）は公表不可（公表する場合、区分を合算し5人以上にすること）

子ども・若者の性・年代・職業（8区分）・同居人の有無別の集計については付表2を参照。

■勤務・経営関連資料

有職者の自殺の内訳（特別集計（自殺日・住居地、H24～28 合計）、公表可能）

（性・年齢・同居の有無の不詳を除く）

職業	自殺者数	割合	全国割合
自営業・家族従業者	4	23.5%	21.4%
被雇用者・勤め人	13	76.5%	78.6%
合計	17	100.0%	100.0%

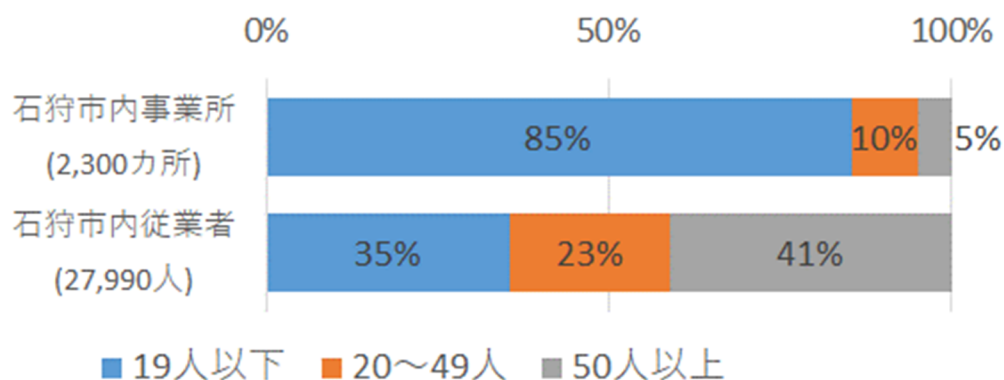
地域の就業者の常住地・従業地（H27 国勢調査）

		従業地		
		自市区町村	他市区町村	不明・不詳
常住地	自市区町村	13,166	11,917	1,053
	他市区町村	14,806	—	—

・石狩市内常住就業者の45.6%が他市区町村で従業している。また、石狩市内従業者の52.9%が他市区町村に常住している。

・地域によっては労働力状態不詳の割合が高く、実際の従業者数を反映していないことがある。

地域の事業所規模別事業所／従業者割合（H26 経済センサス-基礎調査）



石狩市 地域自殺実態プロフィール【2017】(JSSC 2017)

	総数	1～4 人	5～9 人	10 ～ 19 人	20 ～ 29 人	30 ～ 49 人	50 ～ 99 人	100 人以上	出向・派遣従業員のみ
事業所数	2,300	1,190	433	329	131	93	78	32	14
従業者数	27,990	2,517	2,843	4,563	3,100	3,442	5,140	6,385	－

労働者数 50 人未満の小規模事業場ではメンタルヘルス対策に遅れがあることが指摘されており、地域産業保健センター等による支援が行われている。自殺対策の推進の上でも地域の関係機関との連携による小規模事業所への働きかけがのぞまれる。

■高齢者関連資料

60 歳以上の自殺の内訳（特別集計（自殺日・住居地、H24～28 合計）、公表可能）

性別	年齢階級	同居人の有無 (人数)		同居人の有無 (割合)		全国割合	
		あり	なし	あり	なし	あり	なし
男性	60 歳代	3	1	14.3%	4.8%	18.1%	10.7%
	70 歳代	4	1	19.0%	4.8%	15.2%	6.0%
	80 歳以上	2	1	9.5%	4.8%	10.0%	3.3%
女性	60 歳代	5	1	23.8%	4.8%	10.0%	3.3%
	70 歳代	1	0	4.8%	0.0%	9.1%	3.7%
	80 歳以上	1	1	4.8%	4.8%	7.4%	3.2%
合計		21		100%		100%	

高齢者（65 歳以上）の多くが無職のため、性・年代別の同居者の有無を示した。

60 歳以上の性・年代・職業（8 区分）・同居人の有無別の集計については付表 2 を参照。

■ハイリスク地関連資料（自殺統計（自殺日））

自殺者数の推移

自殺統計 (自殺日)	H24	H25	H26	H27	H28	合計	集計 (発見地/住居地)	
発見地	12	25	11	22	16	86	比	172%
住居地	12	12	3	15	8	50	差	+36

年代別自殺者数

H24～28 合計	20 歳 未満	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80 歳 以上	不詳
発見地	4	9	17	9	12	22	8	5	0
住居地	3	5	13	3	5	10	6	5	0

■自殺手段関連資料

手段別の自殺者数の推移（自殺統計（自殺日・住居地））

手段	H24	H25	H26	H27	H28	合計	割合
首つり	8	9	2	12	5	36	72.0%
服毒	0	0	0	0	0	0	0.0%
練炭等	0	2	0	3	2	7	14.0%
飛降り	1	0	1	0	0	2	4.0%
飛込み	0	0	0	0	0	0	0.0%
その他	3	1	0	0	1	5	10.0%
不詳	0	0	0	0	0	0	0.0%
合計	12	12	3	15	8	50	100%

自殺統計で自殺の手段が秘匿処理されている（空欄がある）場合等は、以下を参考のこと。（市町村合併後や二次医療圏単位での集計で一部の（旧）市町村に秘匿処理されている場合、合計も空欄とし、5年合計は算出していない）

手段別の自殺者数の詳細（特別集計（自殺日・住居地、H24~28 合計））

手段	人数	割合	全国割合
首つり		72.0%	66.0%
首つり以外（小計）		28.0%	33.9%
服毒		0.0%	2.5%
練炭等		14.0%	7.5%
飛降り		4.0%	9.6%
飛込み		0.0%	2.3%
その他（小計）		10.0%	12.1%
有機溶剤吸引		0.0%	0.3%
排ガス		2.0%	0.4%
その他のガス		2.0%	1.4%
感電		0.0%	0.3%
焼身		0.0%	1.4%
爆発物		0.0%	0.0%
銃器		0.0%	0.1%
刃物		0.0%	2.3%
入水		4.0%	3.4%
その他		2.0%	2.5%
不詳		0.0%	0.1%
合計		100.0%	100.0%

※5人未満（斜体）は公表不可（公表する場合、区分を合算し5人以上にすること）

「地域の自殺の特性の評価（p.2）」での自殺手段の指標が公表可能となる条件は、本表の「首つり」と「首つり以外（小計）」の人数が共に5人以上であること。（自殺統計から算出可能な場合の公表は差し支えない。）

■自殺者における未遂歴の有無

自殺者における未遂歴の推移（自殺統計（自殺日・住居地））

未遂歴		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H24～28 合計(人)
総数	あり	4	4	3	3	3	1	4	1	12
	なし	10	13	10	7	7	1	10	6	31
	不詳	3	2	0	2	2	1	1	1	7
男性	あり	3	2		1	1		2		-
	なし	8	9		6	6		8		-
	不詳	1	2		0	1		0		-
女性	あり	1	2		2	2		2		-
	なし	2	4		1	1		2		-
	不詳	2	0		2	1		1		-

自殺統計で未遂歴の有無が秘匿処理されている（空欄がある）場合等は、以下を参考のこと。（市町村合併後や二次医療圏単位での集計で一部の（旧）市町村に秘匿処理されている場合、合計も空欄とし、5年合計は算出していない）

自殺者における未遂歴の総数（自殺統計(再掲)もしくは特別集計（自殺日・住居地、H24～28 合計））

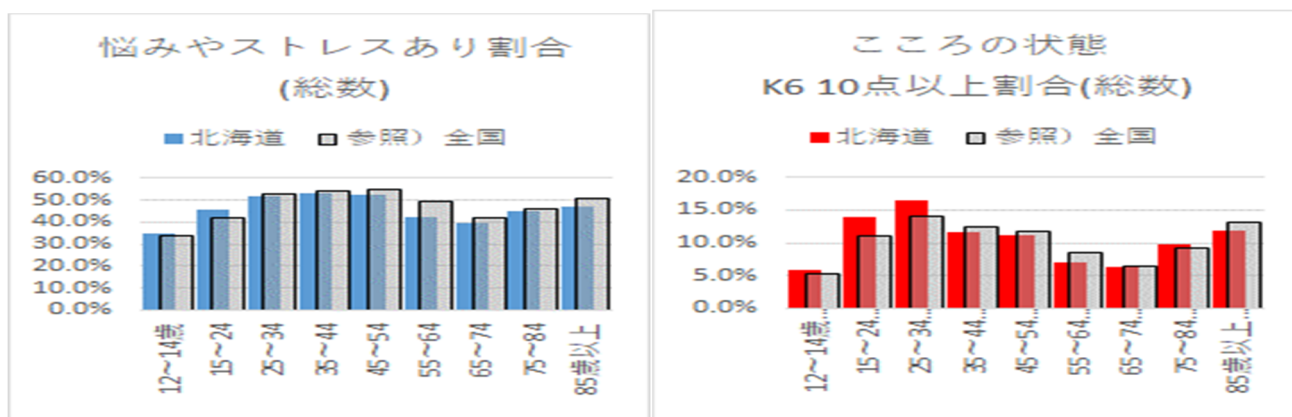
未遂歴	自殺者数	割合	全国割合
あり	12	24%	20%
なし	31	62%	60%
不詳	7	14%	20%
合計	50	100%	100%

※特別集計による場合、5人未満(斜体)は公表不可（公表する場合、区分を合算し5人以上にすること）

■住民の悩みやストレス、こころの状態の状況（国民生活基礎調査）

・本項目については市町村別の全国的な調査は行われていないため、参考として都道府県－21 大都市別および全国の年齢（10 歳階級）別の結果を掲載した。

平成 28 年国民生活基礎調査結果 （数表は付表 7 参照。割合は回答不詳を除いて算出した。）



こころの状態の評価には、K 6 という尺度を用いている。K 6 は米国の Kessler らによって、うつ病・不安障害などの精神疾患をスクリーニングすることを目的として開発され、一般住民を対象とした調査で心理的ストレスを含む何らかの精神的な問題の程度を表す指標として広く利用されている。点数が高いほど、精神的な問題がより重い可能性がある（点数の範囲は 0 ～ 24 点）。

■付表 参考表) 地域の自殺の特徴について

参考表 1) 生活状況別の自殺の背景にある主な危機経路の例

生活状況				背景にある主な危機経路の例
男性	20～39 歳	有職	同居	職場の人間関係／仕事の悩み(ブラック企業)→パワハラ＋過労→うつ状態→自殺
			独居	① 【正規雇用】配置転換→過労→職場の人間関係の悩み＋仕事の失敗→うつ状態→自殺／② 【非正規雇用】(被虐待・高校中退)非正規雇用→生活苦→借金→うつ状態→自殺
		無職	同居	① 【30代その他無職】ひきこもり＋家族間の不和→孤立→自殺 ② 【20代学生】就職失敗→将来悲観→うつ状態→自殺
			独居	① 【30代その他無職】失業→生活苦→多重債務→うつ状態→自殺 ② 【20代学生】学内の人間関係→休学→うつ状態→自殺
	40～59 歳	有職	同居	配置転換→過労→職場の人間関係の悩み＋仕事の失敗→うつ状態→自殺
			独居	配置転換(昇進/降格含む)→過労＋仕事の失敗→うつ状態＋アルコール依存→自殺
		無職	同居	失業→生活苦→借金＋家族間の不和→うつ状態→自殺
			独居	失業→生活苦→借金→うつ状態→自殺
	60 歳以上	有職	同居	① 【労働者】身体疾患＋介護疲れ→アルコール依存→うつ状態→自殺 ② 【自営業者】事業不振→借金＋介護疲れ→うつ状態→自殺
			独居	配置転換／転職＋死別・離別→身体疾患→うつ状態→自殺
		無職	同居	失業(退職)→生活苦＋介護の悩み(疲れ)＋身体疾患→自殺
			独居	失業(退職)＋死別・離別→うつ状態→将来生活への悲観→自殺
女性	20～39 歳	有職	同居	離婚の悩み→非正規雇用→生活苦＋子育ての悩み→うつ状態→自殺
			独居	① 非正規雇用→生活苦→借金→うつ状態→自殺 ② 仕事の悩み→うつ状態→休職／復職の悩み→自殺
		無職	同居	DV等→離婚→生活苦＋子育ての悩み→うつ状態→自殺
			独居	① 【30代その他無職】失業→生活苦＋うつ状態→孤立→自殺 ② 【20代学生】学内の人間関係→休学→就職失敗＋うつ状態→自殺
	40～59 歳	有職	同居	職場の人間関係＋家族間の不和→うつ状態→自殺
			独居	職場の人間関係＋身体疾患→うつ状態→自殺
		無職	同居	近隣関係の悩み＋家族間の不和→うつ病→自殺
			独居	夫婦間の不和→離婚→生活苦→うつ状態→自殺
	60 歳以上	有職	同居	介護疲れ＋家族間の不和→身体疾患＋うつ状態→自殺
			独居	死別・離別＋身体疾患→うつ状態→自殺
		無職	同居	身体疾患→病苦→うつ状態→自殺
			独居	死別・離別＋身体疾患→病苦→うつ状態→自殺

主な危機経路の例は自殺実態白書 2013(ライフリンク)を参考にした。

石狩市 地域自殺実態プロフィール【2017】(JSSC 2017)

参考表2) 指標のランクの基準 (詳細)

当該自治体の各指標についての全国市区町村におけるランク

	自殺率のランク		ハイリスク地指標のランク		自殺手段指標のランク (首つり以外の自殺手段の割合)
★★★★	上位 10%以内	☆☆	上位 10%かつ差+10 人以上		上位 10%かつ自殺者数 20 人以上
★★★	上位 10~20%	☆	上位 10~20% かつ差+5 人以上		上位 10~20% かつ自殺者数 20 人以上
★★	上位 20~40%	—	その他		その他
—	その他	**	評価せず		評価せず
**	評価せず				

参考表3) 指標の各ランクの下限と中央値 (H24~H28 合計)

指標	★★★★	★★★	★★	★	中央値
総数 (自殺率 10 万対)	~31.2	~26.2	~21.5	20.0	
20 歳未満 (自殺率 10 万対)	~ 5.6	~ 3.5	~ 1.5	0.0	
20 歳代 (自殺率 10 万対)	~35.2	~26.9	~19.1	16.2	
30 歳代 (自殺率 10 万対)	~39.8	~29.2	~21.4	18.7	
40 歳代 (自殺率 10 万対)	~44.6	~33.9	~25.2	22.0	
50 歳代 (自殺率 10 万対)	~48.1	~38.4	~28.8	25.5	
60 歳代 (自殺率 10 万対)	~41.6	~32.3	~25.1	22.6	
70 歳代 (自殺率 10 万対)	~50.2	~37.6	~27.8	24.3	
80 歳以上 (自殺率 10 万対)	~57.7	~42.6	~29.5	25.1	
男性 (自殺率 10 万対)	~46.6	~38.1	~30.8	28.5	
女性 (自殺率 10 万対)	~20.4	~15.9	~12.6	11.5	
若年者 (20~39 歳、自殺率 10 万対)	~34.7	~26.7	~20.9	18.7	
高齢者 (70 歳以上、自殺率 10 万対)	~48.4	~37.6	~28.3	25.9	
勤務・経営 (20~59 歳、自殺率 10 万対)	~32.7	~24.8	~18.9	17.0	
無職者・失業者 (20~59 歳、自殺率 10 万対)	~81.0	~59.7	~43.5	38.8	

指標	☆☆	☆	中央値
ハイリスク地 (発見地÷住居地(%)とその差)	~143%かつ 差+10 人以上	~121%かつ 差+5 人以上	102%
自殺手段 (首つり以外の自殺手段の割合(%))。 自殺者が 0 人の場合 0%とした。)	~44%かつ 自殺者 20 人以上	~40%かつ 自殺者 20 人以上	31%

たとえば、総数 (自殺率) が 28.0 のばあい、26.2 以上 31.2 未満なので★★に該当する。

石狩市 地域自殺実態プロファイル【2017】(JSSC 2017)

付表1 地域の自殺の概要（グラフの元データ）(H24～28 合計)

自殺者の割合と自殺率（10 万対）

性別	年齢階級	職業	同独居	自殺者 数	順位*	割合	自殺率 (10 万対)	推定* 人口	全国 割合	全国 自殺率
男性	20～39 歳	有職者	同居	4	4	8.0%	21.1	3782.6	6.0%	17.1
			独居	1	14	2.0%	43.6	458.2	3.3%	30.3
		無職者	同居	3	7	6.0%	67.8	885.4	5.0%	67.2
			独居	3	5	6.0%	1057.1	56.8	2.3%	105.9
	40～59 歳	有職者	同居	3	9	6.0%	10.3	5826.7	10.3%	20.0
			独居	1	15	2.0%	25.7	777.0	3.8%	38.7
		無職者	同居	3	6	6.0%	138.5	433.3	5.3%	133.2
			独居	0	18	0.0%	0.0	96.0	4.2%	275.8
	60 歳以上	有職者	同居	1	17	2.0%	5.4	3676.6	4.5%	17.5
			独居	1	13	2.0%	52.3	382.3	1.3%	36.9
		無職者	同居	8	1	16.0%	32.5	4923.4	12.9%	36.0
			独居	2	10	4.0%	59.5	672.7	6.6%	96.2
女性	20～39 歳	有職者	同居	3	8	6.0%	23.1	2,602.8	1.6%	6.1
			独居	0	18	0.0%	0.0	197.0	0.7%	11.7
		無職者	同居	4	3	8.0%	33.4	2,397.2	3.3%	16.4
			独居	0	18	0.0%	0.0	101.0	0.8%	33.7
	40～59 歳	有職者	同居	1	16	2.0%	6.6	3,041.0	1.9%	6.4
			独居	0	18	0.0%	0.0	174.0	0.5%	13.5
		無職者	同居	0	18	0.0%	0.0	3,895.0	5.3%	17.0
			独居	0	18	0.0%	0.0	182.0	1.2%	44.7
	60 歳以上	有職者	同居	2	11	4.0%	33.4	1,198.7	0.7%	7.6
			独居	0	18	0.0%	0.0	196.6	0.2%	11.0
		無職者	同居	5	2	10.0%	12.3	8,161.3	9.9%	16.7
			独居	2	12	4.0%	22.4	1,782.4	3.9%	24.0

*各区分の自殺率の母数とした推定人口については、平成 27 年国勢調査就業状態等基本集計を用い、労働力状態が「不詳」の人口を有職者と無職者（労働力人口のうち「家事のほか仕事」、「学業のかたわら仕事」と失業者および非労働力人口の合計）に按分した。

付表2 性年齢階級別、職業（8区分）、同居の有無クロス表
（特別集計（自殺日・住居地）（H24～28 合計））

性別	年齢階級	同居人の有無	職業							不詳
			有職者		無職等					
			自営業・ 家族従業者	被雇用者 ・勤め人	学生	主婦	失業者	年金等	その他 無職	
男性	20 歳未満	あり								
		なし								
	20 歳代	あり								
		なし								
	30 歳代	あり								
		なし								
	40 歳代	あり								
		なし								
	50 歳代	あり								
		なし								
	60 歳代	あり								
		なし								
	70 歳代	あり								
		なし								
	80 歳以上	あり								
		なし								
女性	20 歳未満	あり								
		なし								
	20 歳代	あり								
		なし								
	30 歳代	あり								
		なし								
	40 歳代	あり								
		なし								
	50 歳代	あり								
		なし								
	60 歳代	あり								
		なし								
	70 歳代	あり								
		なし								
	80 歳以上	あり								
		なし								

※5人未満（斜体）は公表不可（公表する場合、区分を合算し5人以上にすること。）

付表2-1 （参考）付表2 の上位 10 カテゴリー（5人未満は表記せず）

区分（H24～28 合計）	人数
5人以上の区分はありません。	

石狩市 地域自殺実態プロファイル【2017】(JSSC 2017)

付表3 自殺者の性・年代別割合と自殺率(10万対)(資料:付表4, 5)

H24~28 合計		石狩市割合	全国割合	石狩市自殺率	全国自殺率
総数		100.0%	100.0%	16.7	19.6
男性		64.0%	68.9%	22.1	27.7
女性		36.0%	31.1%	11.6	11.9
男性	20歳未満	4.0%	1.5%	7.4	3.2
	20歳代	4.0%	7.5%	16.4	27.7
	30歳代	18.0%	9.5%	48.2	27.6
	40歳代	6.0%	12.2%	15.0	33.1
	50歳代	8.0%	12.1%	22.2	38.9
	60歳代	8.0%	11.7%	15.1	33.0
	70歳代	10.0%	8.6%	33.0	34.6
	80歳以上	6.0%	5.4%	40.1	42.4
女性	20歳未満	2.0%	0.7%	3.8	1.6
	20歳代	6.0%	2.8%	25.3	10.8
	30歳代	8.0%	3.8%	21.5	11.4
	40歳代	0.0%	4.6%	0.0	12.7
	50歳代	2.0%	4.5%	5.3	14.4
	60歳代	12.0%	5.4%	21.1	14.4
	70歳代	2.0%	5.2%	5.7	17.4
	80歳以上	4.0%	4.3%	14.0	17.7

付表4 自殺者の推移(自殺統計(自殺日・住居地))

		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H24~28 合計(人)
自殺者数	総数	17	19	13	12	12	3	15	8	50
男性	合計	12	13	12	7	8	1	10	6	32
女性	合計	5	6	1	5	4	2	5	2	18
男性	20歳未満	0	0	0	1	0	0	1	0	2
	20歳代	2	1	3	1	0	1	0	0	2
	30歳代	4	1	1	2	0	0	4	3	9
	40歳代	0	3	1	0	1	0	1	1	3
	50歳代	5	3	2	0	3	0	0	1	4
	60歳代	1	1	5	1	1	0	1	1	4
	70歳代	0	2	0	2	1	0	2	0	5
	80歳以上	0	2	0	0	2	0	1	0	3
女性	20歳未満	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	20歳代	0	0	0	2	1	0	0	0	3
	30歳代	0	2	0	0	2	0	2	0	4
	40歳代	1	2	0	0	0	0	0	0	0
	50歳代	2	1	1	0	0	1	0	0	1
	60歳代	1	1	0	3	0	0	2	1	6
	70歳代	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	80歳以上	1	0	0	0	0	0	1	1	2

石狩市 地域自殺実態プロファイル【2017】(JSSC 2017)

付表5 住民基本台帳に基づく人口（住基人口）（総務省）

		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H24～28 合計(人)
人口	総数	61,191	61,109	60,878	60,616	60,408	59,986	59,362	59,202	299,574
男性	合計	29,650	29,658	29,469	29,355	29,201	29,000	28,739	28,609	144,904
女性	合計	31,541	31,451	31,409	31,261	31,207	30,986	30,623	30,593	154,670
男性	20歳未満	5,784	5,754	5,693	5,618	5,487	5,414	5,263	5,225	27,007
	20歳代	3,025	2,849	2,699	2,617	2,538	2,445	2,341	2,264	12,205
	30歳代	4,161	4,225	4,145	4,069	3,916	3,734	3,565	3,400	18,684
	40歳代	3,562	3,630	3,676	3,771	3,904	4,028	4,103	4,154	19,960
	50歳代	4,725	4,375	4,071	3,835	3,688	3,570	3,465	3,439	17,997
	60歳代	4,659	4,984	5,160	5,258	5,303	5,291	5,281	5,289	26,422
	70歳代	2,495	2,547	2,658	2,794	2,919	3,028	3,164	3,236	15,141
	80歳以上	1,239	1,294	1,367	1,393	1,446	1,490	1,557	1,602	7,488
女性	20歳未満	5,440	5,415	5,400	5,349	5,313	5,259	5,107	5,102	26,130
	20歳代	3,162	2,955	2,791	2,624	2,476	2,376	2,232	2,168	11,876
	30歳代	4,116	4,171	4,081	3,988	3,937	3,766	3,522	3,412	18,625
	40歳代	3,530	3,513	3,593	3,670	3,734	3,801	3,917	3,984	19,106
	50歳代	5,090	4,702	4,367	4,073	3,838	3,722	3,566	3,504	18,703
	60歳代	4,798	5,171	5,435	5,583	5,728	5,702	5,734	5,756	28,503
	70歳代	3,056	3,096	3,184	3,306	3,385	3,506	3,580	3,620	17,397
	80歳以上	2,349	2,428	2,558	2,668	2,796	2,854	2,965	3,047	14,330

付表6 長期推移（自殺率は人口10万対）

年	人口動態統計 自殺者数	自殺統計		
		自殺者数	自殺率(当該自治体)	自殺率(全国)
H11	14			
H12	12			
H13	20			
H14	17			
H15	17			
H16	9			
H17	18			
H18	8			
H19	15			
H20	12			
H21	16	17	27.8	25.6
H22	17	19	31.1	24.7
H23	10	13	21.4	24.1
H24	11	12	19.8	21.8
H25	12	12	19.9	21.1
H26	5	3	5.0	19.6
H27	14	15	25.3	18.6
H28	8	8	13.5	17.0

石狩市 地域自殺実態プロフィール【2017】(JSSC 2017)

付表7 国民生活基礎調査 健康（第4巻）閲覧 第4表（閲覧公表 表番号2） 世帯人員（12歳以上），悩みやストレスの有－悩みやストレスの原因（複数回答）－無・性・年齢（10歳階級）・都道府県－21大都市（再掲）別、閲覧 第5表（閲覧公表 表番号5） 世帯人員（12歳以上），こころの状態（点数階級）・性・年齢（10歳階級）・都道府県－21大都市（再掲）別より抜粋（H28）

性年齢階級	第4表より抜粋			第5表より抜粋				
	総数	悩みや ストレスあり	不詳	総数	0～4 点	5～9 点	10点 以上	不詳
北海道								
総数	4668	2136	84	4668	3194	773	460	241
12～14歳	152	49	12	152	112	18	8	15
15～24	497	224	4	497	338	79	68	12
25～34	455	235	3	455	301	73	74	7
35～44	666	351	7	666	453	122	76	15
45～54	737	385	5	737	493	144	80	20
55～64	774	325	10	774	565	128	53	27
65～74	735	282	19	735	525	104	42	64
75～84	496	214	17	496	312	81	43	60
85歳以上	156	70	7	156	94	24	16	22